

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」
提案グループ名	阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	瀬谷区 阿久和東1丁目 阿久和向原第二公園
施設整備の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い阿久和向原第二公園に核となる建物を整備し、子どもからお年寄りまで集まる“大きな見守り合い”の拠点を作ります。</li> <li>・ 広いデッキ（約18坪）を備えた建物（約10坪）は、公園（8,595㎡＝約2,600坪）に人と情報を集めるためのシンボルとなります。人が人を呼び、情報が集まり、地域コミュニティが活性化することで、見守り合いが定着します。</li> </ul>
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月～5月 助成金額に応じた再設計</li> <li>・ 5月中旬 発注</li> <li>・ 5月～10月 施工準備（現場の目隠しとなる竹垣の作成、資材置場の準備、手作り備品の作成等）</li> <li>・ 10月～3月 施工（地域のみんなで手作り）</li> </ul>

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園は公の広い縁側（広縁&amp;公縁）です。公園だからこそ多様な人が集まり、様々な世代が同時に居ることができると考えました。</li> <li>・ 阿久和向原第二公園は、広いがために閑散としており、人が居ないときに子ども一人で行かせるには不安がある場所です。しかし、広い割には障害物が少なく、隅々まで見渡すことができるため、誰かが居てくれれば安心して集える場所でもあります→ 欲しい（足りない）のは、そこに行けば誰かが居る安心感</li> <li>・ 広い公園に建物を建てることで、人が居る場所を創り、誰かが居ることで、人が集う安心感を生みます。→ スタッフ1人常駐</li> <li>・ 建物は広いデッキ付のログハウス（キットハウス）。木の温もりが公園と調和し、デッキはイベントの舞台としても利用できます。</li> <li>・ 公園の機能を損なわず、且つ全体を見渡せる場所に設置します。</li> <li>・ デッキまでスロープで上がることができ、ベビーカーや車イス、お年寄りや小さな子どもでも利用しやすくなっています。</li> <li>・ 2つの大きな扉が解放され、自由に出入りできます。公園に集う全ての人が利用できるフリースペースです。</li> </ul>
--	--

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍するボランティア組織「おやじの広場」や、近隣の中学生、専門知識を持つ協力者など、地域のみんで汗を流して作ります。→ 基礎工事は専門業者に依頼し、屋根の組み立ては専門家のアドバイスを受けながらの作業です</li> <li>・愛着が持てる拠点づくりのため、子どもから大人まで多様な人が、それぞれができる作業に関わって作ります。そのため、組み立てやすいキットハウスを選びました。</li> <li>・施工現場の目隠しには手作りの竹垣を利用。子ども達でも作ることができます。材料は地域の竹林から譲り受けます。</li> <li>・拠点の備品は、可能な限り手作りの物などを持ち寄ります。</li> </ul>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設（コミュニティスクール、長屋門公園）の定休日と重ならない、毎週月曜日と木曜日を定休日とします。</li> <li>・当面は、地域の社協メンバーが中心となって常駐。一日を午前と午後に分け、週5日の運営を200人のメンバーで賄うと、年間にして、一人当たり1回から3回の当番となります。</li> <li>・鍵の管理者は一人に固定。常駐スタッフが、管理者を通じて鍵の受け渡しをします。</li> <li>・利用者から常駐ボランティアを募集し、将来的には利用者だけで当番を賄えるようにします。</li> <li>・建物の中だけでなく、デッキや公園全体を利用して、子どもからお年寄りまで、様々な世代が集まれるイベントを実施します。</li> </ul>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者である横浜市（環境創造局、瀬谷土木事務所）とは、2次コンテストを通過した場合は、事前に協議した内容に基づいて一件審査を行うことで調整済みです。</li> <li>・近隣住民を含め、連合町内会でニュースレターによる周知（全戸配布、全世帯回覧）を図りました。</li> <li>・連合町内会の代表者会議で適宜情報を共有、合意してきました。</li> <li>・建築メーカーによるキットハウスであり、建築申請を前提とした設計で作成されています。横浜市建築局とも事前相談済みです。</li> <li>・公園への電気引込みについては、東京電力とも調整済みです。</li> </ul>
--	---

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期地域福祉保健計画における活動で、全世帯アンケートを実施（平成20年7月：回収2,782件、回収率78%）。地域における見守り合いの必要性が浮き彫りになり、見守り合いネットワーク構築への取組みがスタートしました。</li> <li>・連合町内会での話し合いで、見守り合いネットワークづくりには拠点となる“場”が必要であることが確認され、阿久和北部地区の真ん中にあり、様々な世代が集まりやすい「阿久和向原第二公園」における見守り合い拠点づくりを目指すことになりました。</li> <li>・広くて閑散としている公園に核となる建物が整備されることで、“そこに行けば誰かが居る安心感”が生まれ、様々な世代が集うことで、地域における見守り合いの活性化に繋がります。→ 詳細は「6 地域まちづくりへの発展性について」を参照のこと</li> </ul>
--	--

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丈夫さとコストを意識し、北欧レッドパイン（檜や米松より強度）の輸入材を使用するキットハウスを選択しました。→ 地産地消を目指し、神奈川県産の木材を使用する業者にも声をかけ、比較検討しました</li> <li>・コストのかかる専門業者への依頼を必要最小限に抑え、住民による手作りを原則とします。また、それをするために、みんなで組み立てられるキットハウスを選択しました。</li> <li>・もったいない精神で、材料や道具などは、廃材やあるものなどを徹底的に利用します。例えば、キットに含まれていない雨戸や雨樋などは、廃材などを利用して設置します。</li> <li>・施工現場の安全確保及び目隠しには竹垣を利用。地域の竹林から材料を譲り受け、子ども達も含めた住民の手作業で作成します。</li> </ul>
--	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>【「人が居る公園」と「人が居ない公園」出かけたのはどっち？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行けば誰かが居るフリースペースの建物とデッキがあれば、公園で遊ぶ子どもを見守るパパや、大人に遊びを教わりたい子ども達、囲碁や将棋を楽しみたいお年寄り、ベビーカーを押した子育てママだって、安心して気軽に立ち寄ることができます。</li> </ul> <p>【場所があれば情報も集まる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板を設置し、地域における様々な情報を集結させます。公園に行けば、阿久和北部の情報は全て分かるようになります。</li> </ul> <p>【人が集まるイベントも集めます】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンカフェやフリーマーケット、ステージイベントなど、フリースペースの建物やデッキ、公園を利用した様々な催しを実施し、人が集うための“きっかけ”を地域に届けます。</li> </ul>
---	---

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は町中が公園の場でした。子どもの遊びを遠くから見守る温かい大人の眼差しがあり、時には叱ってくれる近所のおじさん、おばさんがいました。そこには井戸端や縁側で楽しくだべる風景があり、それは自然に気軽に集まれる場所でした。</li> <li>・阿久和向原第二公園は広くて閑散としていますが、人と情報が集まる建物を整備することで、井戸端にも縁側にもなる“阿久和北部のシンボル”として、より魅力的な公園に生まれ変わります。</li> <li>・子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のふれあい、安らぎ、憩いの場として、公園を利用した新しい見守り合いの形を提唱します。阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」ぜひ、整備させてください。</li> </ul>
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# ヨコハマ市民まち普請事業

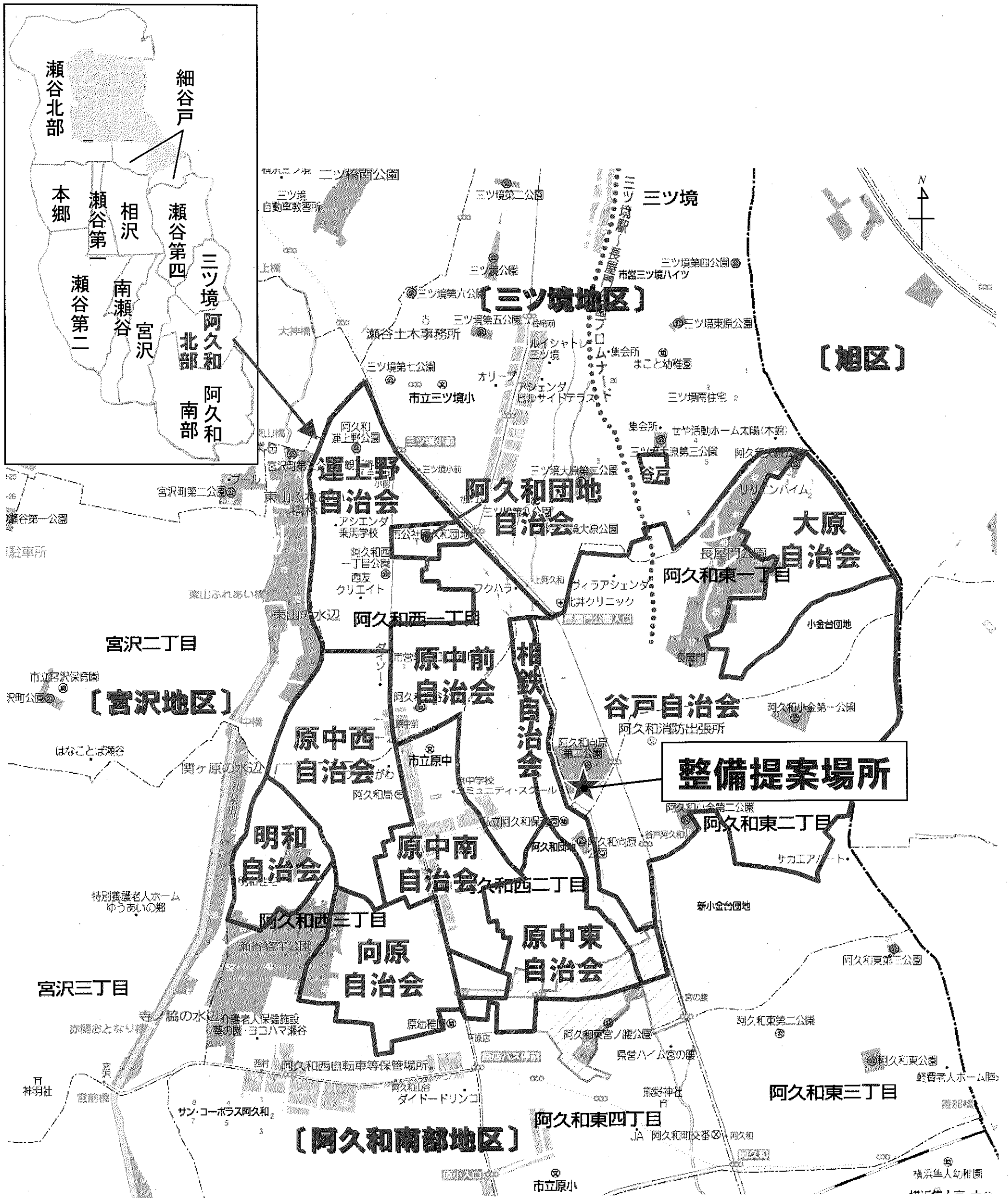
## 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
キットハウス	キット一式	1	2,408,000	2,408,000	地域住民（中学校含む）が制作
	基礎工事一式	1	725,800	725,800	
	屋根施工一式	1	371,000	371,000	出来る作業は地域住民が制作
	電気設備工事一式	1	750,000	750,000	ケーブル埋め込み作業は地域住民
	内装工事一式	1	130,000	130,000	出来る作業は地域住民が制作
	外装工事一式	1	200,000	200,000	地域住民が制作
デッキの樹木	ケヤキ （区の木）	1	10,000	10,000	地域住民が設置
保険	作業に伴う保険	1	100,000	100,000	
コンサルタント等	建築申請、コンサル料	1	305,200	305,200	
合 計				5,000,000	

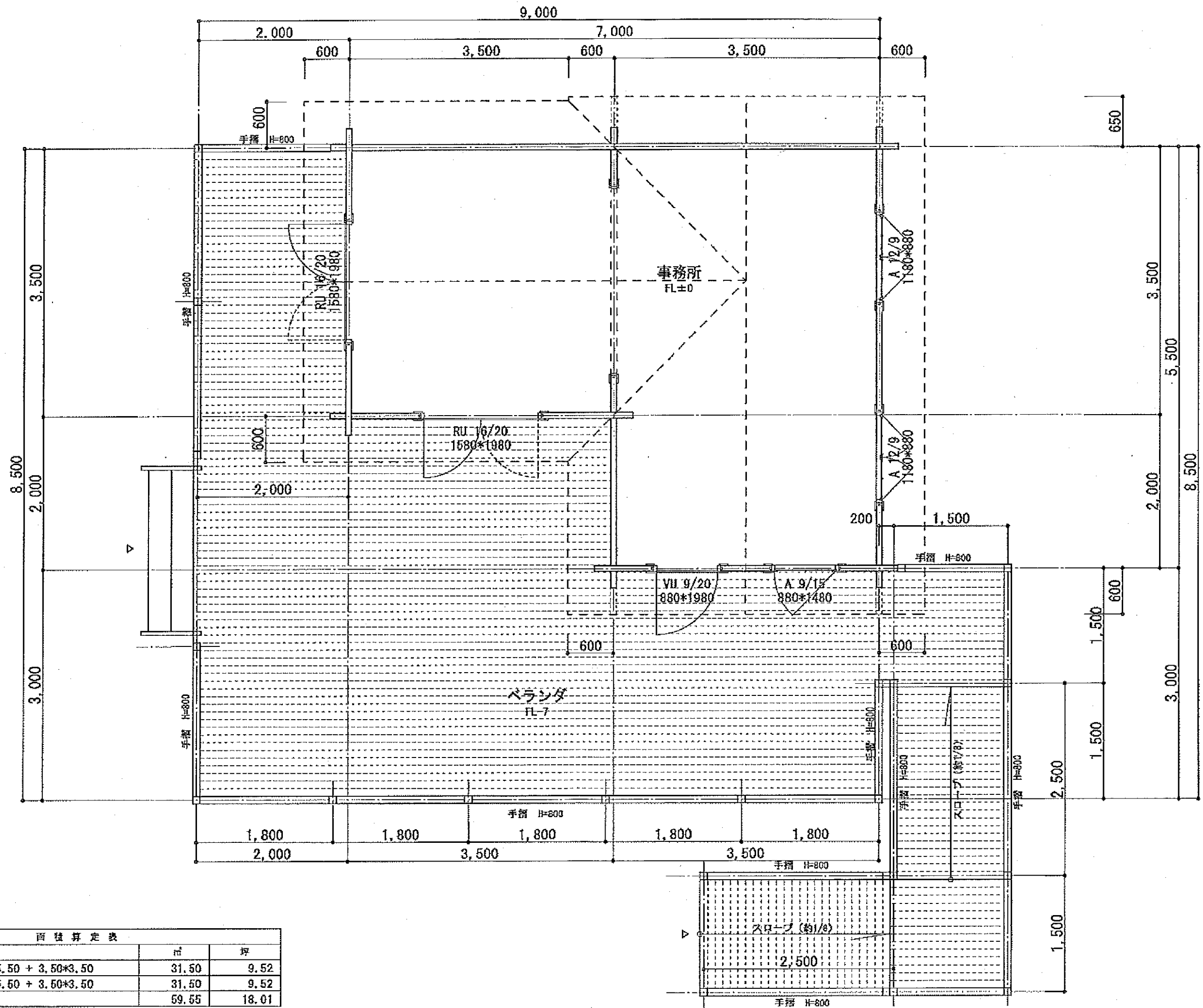
# 阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」 整備提案 位置図



地図データ：横浜市瀬谷区区政推進課発行 区民生活マップ(2009.3発行)より抜粋

縮尺：1 / 8,000





面積算定表			
		㎡	坪
延床面積	3.50×5.50 + 3.50×3.50	31.50	9.52
建築面積	3.50×5.50 + 3.50×3.50	31.50	9.52
ベランダ、スロープ床面積		59.55	18.01

日付：H23-11-27

縮尺：1/50

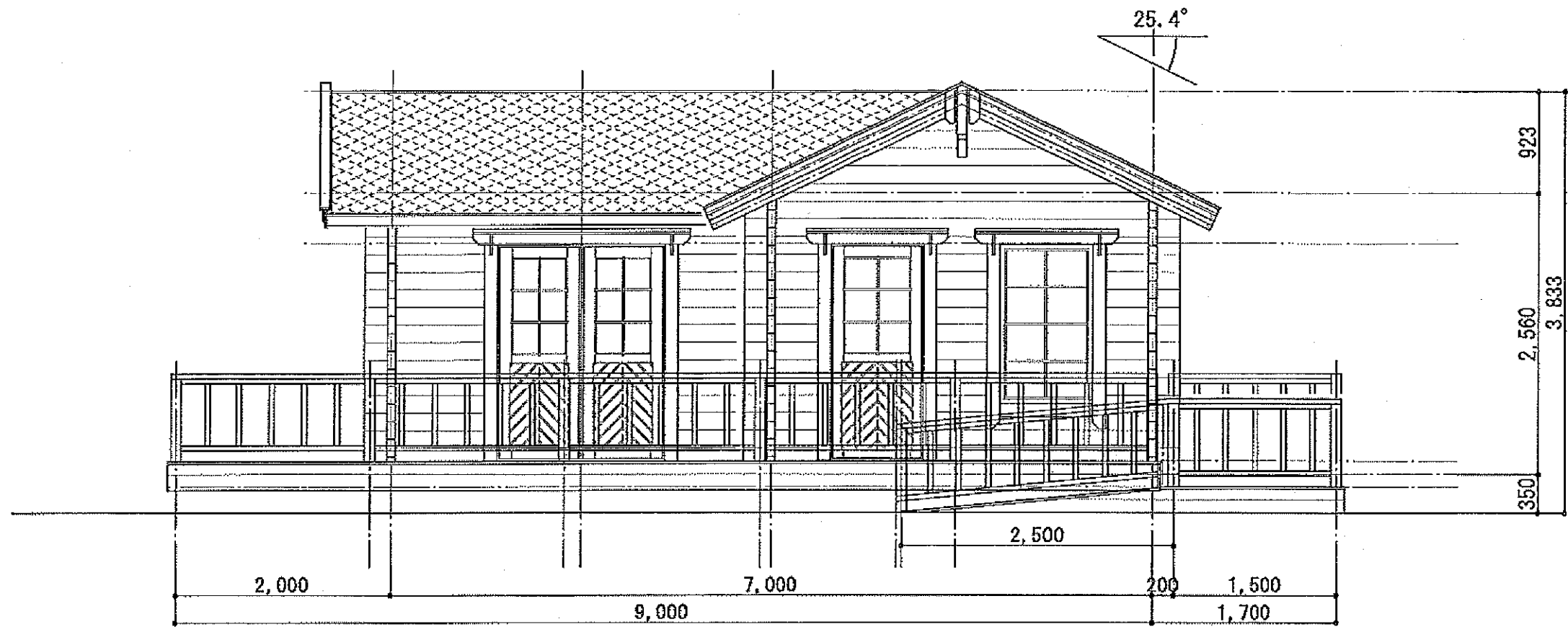
作成：阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会

図面名称

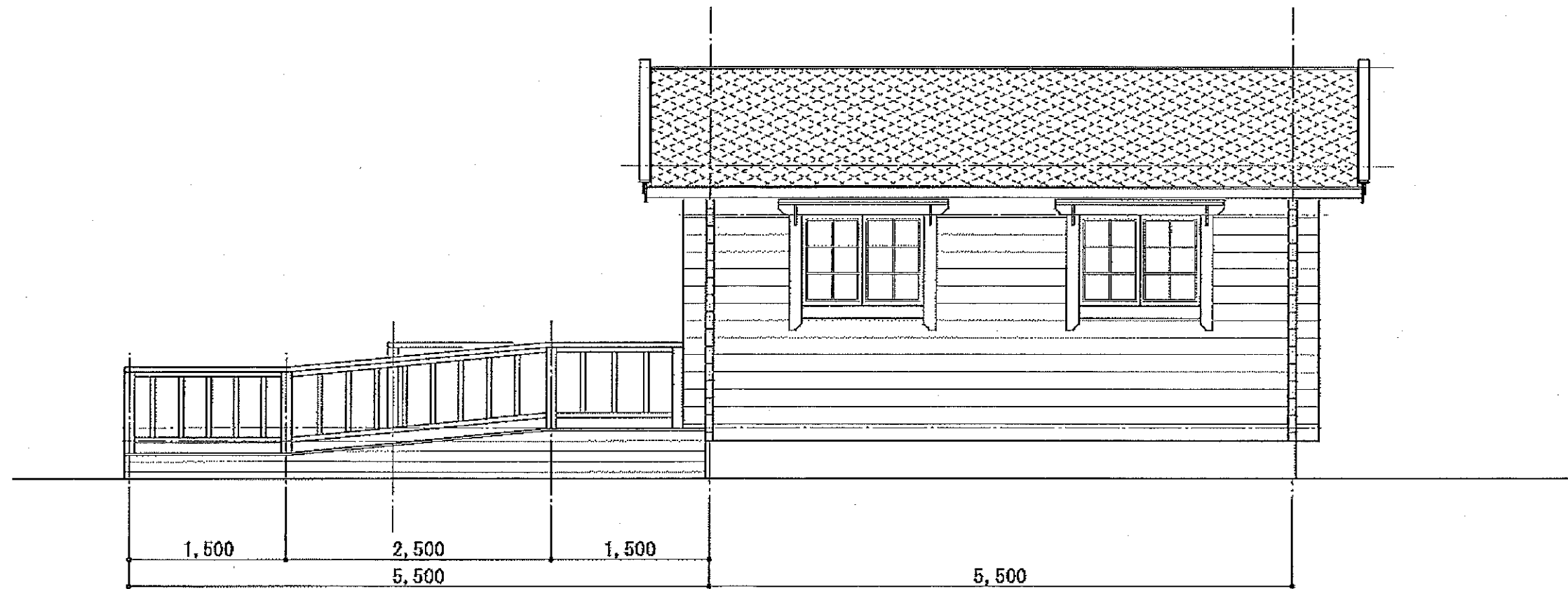
みまもりの家 平面図







南面 立面図



東面 立面図

日付：H23-11-27

縮尺：1/50

作成：阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会

図面名称

みまもりの家 立面図

阿久和北部見守り合い拠点・大きな傘「みまもり広場」みまもりの家 完成予想図

